

平成29年中に支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額などをお知らせする『平成29年分公的年金等の源泉徴収票』が日本年金機構から郵送されました。

公的年金等の源泉徴収票は、所得税の確定申告の際の添付書類として必要となりますので大切に保管してください。

源泉徴収票を紛失されたときの再交付の受付は「ねんきんダイヤル」で行っています。ご本人の基礎年金番号、氏名、住所、生年月日と電話をおかけになった方の氏名、ご本人との続柄、電話番号を確認させていただき、日本年金機構に登録されているご本人の住所宛に郵送します。

ねんきんダイヤル 0570-05-1165

(050で始まる電話でおかけになる場合は、03-6700-1165)

教育委員会だより

合唱を聞いて、その過程を想う

羽島郡二町教育委員会
☎245-1133

合唱コンクールや学校公表会などで笠松中学校の合唱を聞く機会を得ました。

全員が真面目に合唱に向かう真摯な姿が印象的でした。

真剣な眼差しで指揮者を見つめ、大きな口をあげ、曲想を考えながら一生懸命歌う姿に感動を覚えました。学年が上がるごとに声量が増し、「いつかはあんな合唱がしたい。」と下級生が憧れる合唱を披露していました。

そんな素敵な合唱を作り上げる過程を想うと各学年、学級でいろいろなドラマが生まれたことが想像できます。

当たり前ですが、合唱は一人ではできません。仲間がいてはじめて合唱になります。その中には、歌うことが好きな人もいれば、苦手な人もいます。合唱は、隣の人が声を出すことを信じているからこそ、自分も声が出せるのです。

「僕もがんばるから、君もがんばれよ！」

「私も精一杯歌うから、あなたも思い切って声を出してね。」

と、誰も言葉にはしなくても、心の中で思っています。

合唱文化委員長さんは、「本気で取り組むから楽しいという気持ちを全校で味わいたい。」と語っていました。精一杯がんばろうとするメンバーとなかなか真剣になれないメンバーが共に練習に向き合うことで、ドラマが生まれます。

合唱を聞くときには、そんな過程を想像してみたいかがでしょうか。そして、お子さんとそのドラマの話をしてみたいかがでしょうか。

義務教育の終わりをイメージして、合唱を通して本気で仲間と創り上げる喜びを感じ合う笠松中学校の素晴らしさを実感しました。